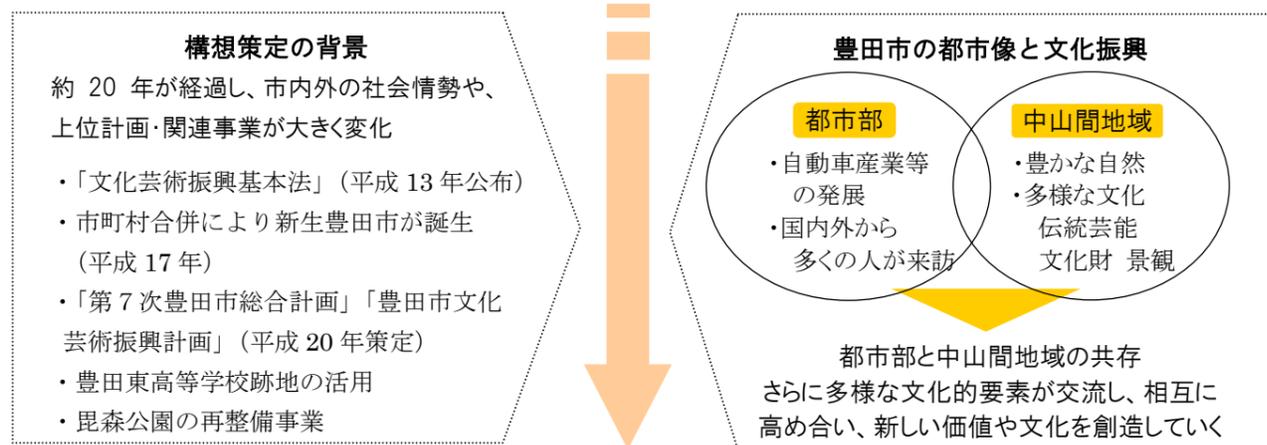


豊田市文化ゾーン基本構想 概要版

■構想策定の背景

「豊田市文化ゾーン整備基本構想」(平成2年策定)



「豊田市文化ゾーン整備基本構想」の区域・機能・内容などを見直す必要

■文化ゾーンに関する現況整理

豊田市の文化を取り巻く動向

- 文化芸術を創造・発表・鑑賞することができる環境の整備の必要性
- 市全体の歴史等を共有する環境の整備の必要性
- 地域施設と拠点施設の機能分担と連携の必要性
- 文化芸術を活かしたまちづくりの必要性

内閣府世論調査
総務省国勢調査
第17回 市民意識調査報告書
豊田市の教育に関するアンケート
文化関係者アンケート

上位・関連計画における位置づけ

- 共生共創社会実現への環境整備
- 市民の文化芸術に関する活動・創造の場づくり
- 都心(センターコア)への文化・交流機能の集積
- 都心(センターコア)での緑づくり

第7次豊田市総合計画
豊田市教育行政計画
豊田市文化芸術振興計画
豊田市都市計画マスタープラン
豊田市緑の基本計画
豊田市中心市街地活性化基本計画

市内の文化関連施設の整備状況からみた文化ゾーンに求められること

- 文化芸術の創造活動を担う拠点機能
 - ・より高度な活動、質の高い作品制作など、本格的な創造活動することを目的とした施設の整備
- 歴史の継承を図る拠点機能
 - ・個別資料館が連携し、新市の歴史を広く伝えていくため、その中核を担う施設の整備

■文化ゾーンの意義

○自ら学び、共に高め合う共生共創社会の実現

・様々な分野の多様な市民・アーティストなどの出会いの場、共同制作の場などを創出し、人の輪、活動の輪が広がり、お互いを理解し、高め合いながら、新たな文化芸術創造へとつながる共生共創社会の基盤ができる。

○都市や地域の魅力・創造力の向上

・文化ゾーンの形成により高められる文化芸術等の持つ創造性が、本市の魅力向上につながる。
・文化関連施設や情報発信力の充実とともに、住環境形成や良好な景観形成を図ることで、文化的な潤いの感じられる空間が生まれる。

○機能の集積による効率的・効果的な事業展開

・機能の高い設備の導入や本格的なプログラムの実施など、より高度な活動に対する支援を効果的に実施できる。
・文化芸術に関する人材・施設・情報などが集積することにより、分野間・活動間の交流や連携を生み出す相乗効果が期待できる。
・アクセス道路や駐車場等の共有化(相互利用)ができるなど、事業の効率化を図ることができる。

■文化ゾーンの位置・区域

【現構想】

毘森公園から市民文化会館、七州城址周辺にかけての62.5ha

【位置・区域の検討】

(位置)

- ・都市構造 / 多核ネットワーク型都市構造の中心(都心)
- ・都市活力 / 中心市街地
- ・ゆとり空間 / 自然豊かで歴史があり一定の空間が確保可能
- ・既存施設 / 文化芸術に係る中央施設の集積
- ・既存計画 / 現構想の文化ゾーンの区域

→現構想(約62.5ha)と同じ位置にて検討

(区域)

- 南側**
- ・市民文化会館、美術館等が整備され、文化芸術活動の拠点となっている。
 - ・豊田東高等学校跡地での施設整備が計画されている。
- 北側**
- ・現構想の位置づけに沿った施設整備は困難。
 - ・毘森公園基本計画において、既存の緑を活かした公園として再整備するとともに、災害時の防災機能を付加

【本構想】

南側(約26ha)に絞る

- 重点的な整備により機能を効率的・効果的に発揮
- 文化関連施設が集積したゾーン形成
- 文化関連施設と住環境が調和した一体的な基盤整備



- 現構想における文化ゾーンの区域
- 本構想における文化ゾーンの区域
- 都市公園
- 歴史的資源
- 文化関連施設

現構想

整備コンセプト

緑に囲まれた複合文化タウン

- ・「身近な文化」「参加する文化」をイメージし、緑に囲まれた都市型文化施設として賑わいと楽しさを持たせる。
- ・大都市では実現不可能な広い地域を利用した多様な機能を付加し、文化活動の動機付けから活動の普及まで幅広い活動を行う。

《機能配置》

ゾーン名	ゾーンの概要
シンボリックゾーン	文化ゾーンのシンボルとしての美術館を核とした中心的なゾーン
創作活動ゾーン	市民の文化活動の中心的な場
野外活動ゾーン	練習・創作広場や野外ステージを計画。身近に文化活動を見て楽しめる環境づくり
親林休養ゾーン	毘森公園の自然林を残しながら訪れる人々の憩いの場を提供
交流文化ゾーン	現在の市民文化会館を充実
歴史修景ゾーン	文化ゾーンの中で歴史文化の拠点

《ネットワーク構想》

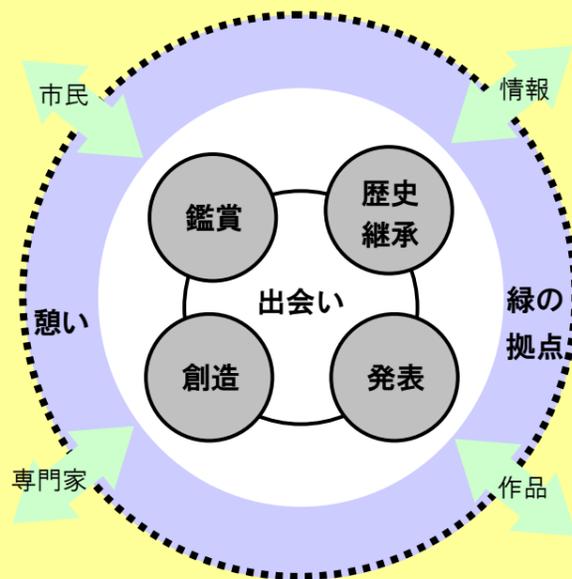
ネットワーク名	ネットワークの概要
歩行者のための「水と緑の回廊」	豊田市駅周辺と文化ゾーン内の各施設を結ぶ遊歩道（歩いて楽しい小道）
自動車用道路	自動車で訪れる人々、文化ゾーン内に住む方々にとって利用しやすい道路と駐車場



本構想

文化ゾーンの目指す姿及び機能

- ◇ 市民が文化芸術を「鑑賞」「創造」「発表」「歴史継承」し、そういった活動を通して「出会い」が生まれる場
- ◇ 文化芸術を活かしながら、すごしやすく、安らぐ「憩いの場」「緑の拠点」
- ◇ 市内外から多くの人々が訪れ、様々な文化芸術情報や作品が集まり、広く情報を発信していく場



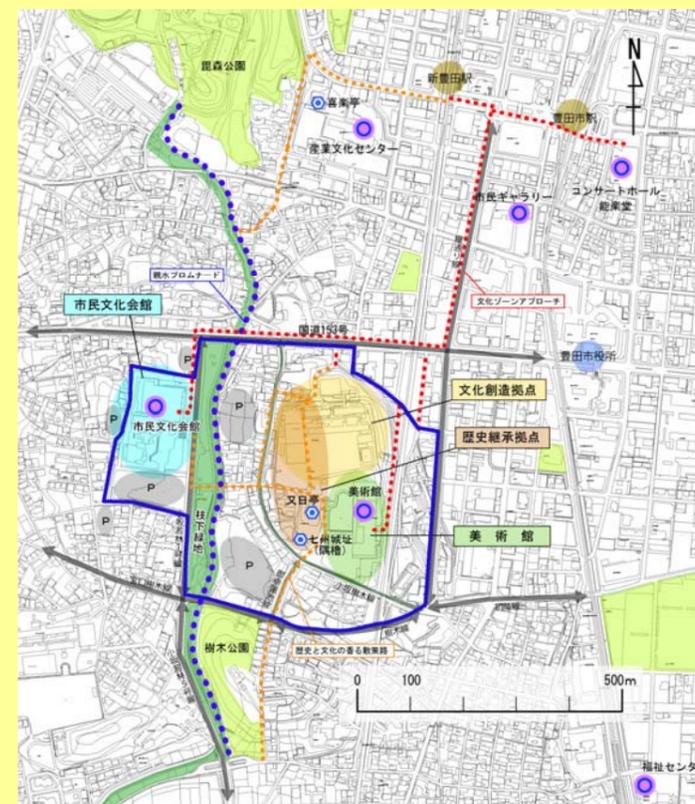
機能	内容
鑑賞	美術・音楽・演劇・伝統文化など多様な市民の鑑賞ニーズに応える拠点
創造	作品制作、練習・稽古、学習などによって、文化芸術作品を生み出していく拠点
発表	文化芸術作品や学習・練習等の成果を発表する拠点
歴史継承	豊田市及び地域の歴史や伝統文化について、収集・保管、調査・研究、展示、学習支援・交流を進める拠点
出会い	市民が情報交換や情報発信を行う場。出会い、いろいろなつながりを生み出す場
憩い	快適にすごすことができ、文化芸術を身近に感じ、憩うことのできる場
緑の拠点	まとまった緑地の確保、水と緑の回遊空間づくりなどにより、緑の環境都市軸と緑の内環を形成する場

文化ゾーンのコンセプト

緑に包まれた文化芸術の杜

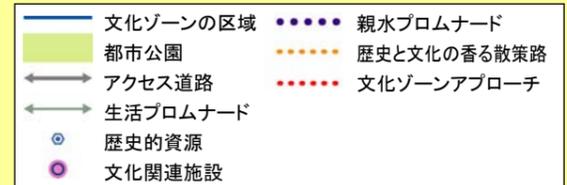
- 文化芸術活動のダイナミックな展開
- 文化芸術を身近に体感
- 文化芸術と緑と歴史の調和

施設配置及びネットワークイメージ



拠点施設

- **美術館**（既存施設）
美術館を核とした文化ゾーンのシンボル
企画展・常設展を展開
- **市民文化会館**（既存施設）
本格的な舞台芸術作品の鑑賞拠点
市民の文化芸術活動の成果発表の場
- **文化創造拠点**（整備予定）
市民や若手芸術家の文化芸術の創作活動、子どもの体験の場や市民の出会いなど、文化創造拠点を整備
- **歴史継承拠点**（整備予定）
市民が市の歴史を学び、体験しながらふるさと力を創造する「歴史継承」の拠点を整備



ネットワークイメージ

【歩行者のための水と緑の回遊空間】

- **親水プロムナード** 枝下用水沿いでの芸術作品の展示もできるような遊歩道
- **歴史と文化の香る散策路** 「歴史の香る散策コース(陽だまり散歩道)」を考慮した散策路
- **文化ゾーンアプローチ** 豊田市駅・新豊田駅周辺と文化ゾーンをつなぐ安全・快適な歩行者空間

【人にやさしい交通ネットワーク】

- **アクセス道路** 文化ゾーンへのアクセス道路となる東西／南北の幹線道路
- **公共交通** 循環バスなどによる公共交通
- **生活プロムナード** 地域住民の生活や歩行者の安全性にも配慮した文化ゾーン内の道路
- **駐車場** 来場者用駐車場(施設間の相互利用)

豊田市文化ゾーン基本構想の実現に向けて

- ① **交通ネットワーク** : 文化ゾーン全体のアクセス道路計画、駅からのアプローチ・公共交通の検討
- ② **土地利用規制** : 基盤整備に合わせた用途地域の見直し等
- ③ **地域住民との共働** : 地域住民の理解と協力など、共働による体制づくり
- ④ **実現に向けた推進体制** : 市内部の関係各課間での連絡・調整を図る体制づくり
- ⑤ **豊田東高等学校跡地の利活用** : 歴史継承、文化創造機能を一体的に捉えた拠点施設整備の検討